AVセレクター

型名 JX-S555

お買い上げいただき、ありがとうございます。

⚠ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください
特に4、5ページ「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

主な特長

① D4端子3入力、Y/C分離・MIX回路を搭載し、従来のAV機器もBSデジタルなど次世代機器も集中管理。
（コンポーネント端子がY/Cb/CrやY/Pb/Prの3ピンの端子しかない機器との接続は、別売りの3ピン-D端子の変換コードで接続してください。）

② ホームシアターに適した5入力3出力、モニター2出力、音声専用モニター1出力。

③ ダビング中の別ソースモニターが可能なダビングロック機能搭載。

④ 信号の劣化が少ない、高画質な信号伝送　（コンポーネントは30MHz対応）

もくじ

安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

△ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指を挟まれないよう注意）が描かれています。

○ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中には具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 雷が鳴りだしたら、電源プラグにはふれないでください。
感電の原因となります。

- この機器を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。（コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。）
- 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加工したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。
- この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合､火災・感電の原因となります。

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。
  火災・感電の原因となります。

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠注意

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。
  火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- この機器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して､けがの原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

- 指定以外の乾電池は使用しないでください。
  また種類の異なる乾電池や新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。
- 乾電池のプラス ⊕ とマイナス ⊖ の向きを表示通り正しく入れてください。
  間違えますと乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 長時間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。
  乾電池から液がもれて火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
  もし液がもれた場合は､乾電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
  また、万一もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

- 移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードをはずしてから行ってください。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

本書の見かたと梱包品のご確認

●本書の見かた●

本書では、はじめて使うかたでも簡単に接続・操作方法が覚えられるよう、ビデオデッキなどを使った基本的な手順からホームシアターなどの応用的な手順を説明しています。

また、内容を読みやすくするために次のようなマーク、記号を使用しています。

操作や手順に関する注意事項が書かれています。

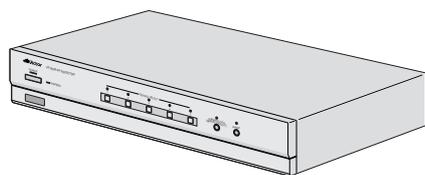
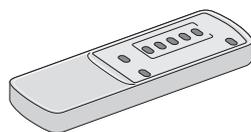
操作や機能などの付加的な情報が書かれています。

接続に関する注意事項が書かれています。

接続に関する付加的な情報が書かれています。

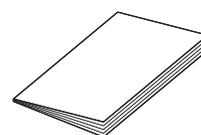
●梱包品のご確認●

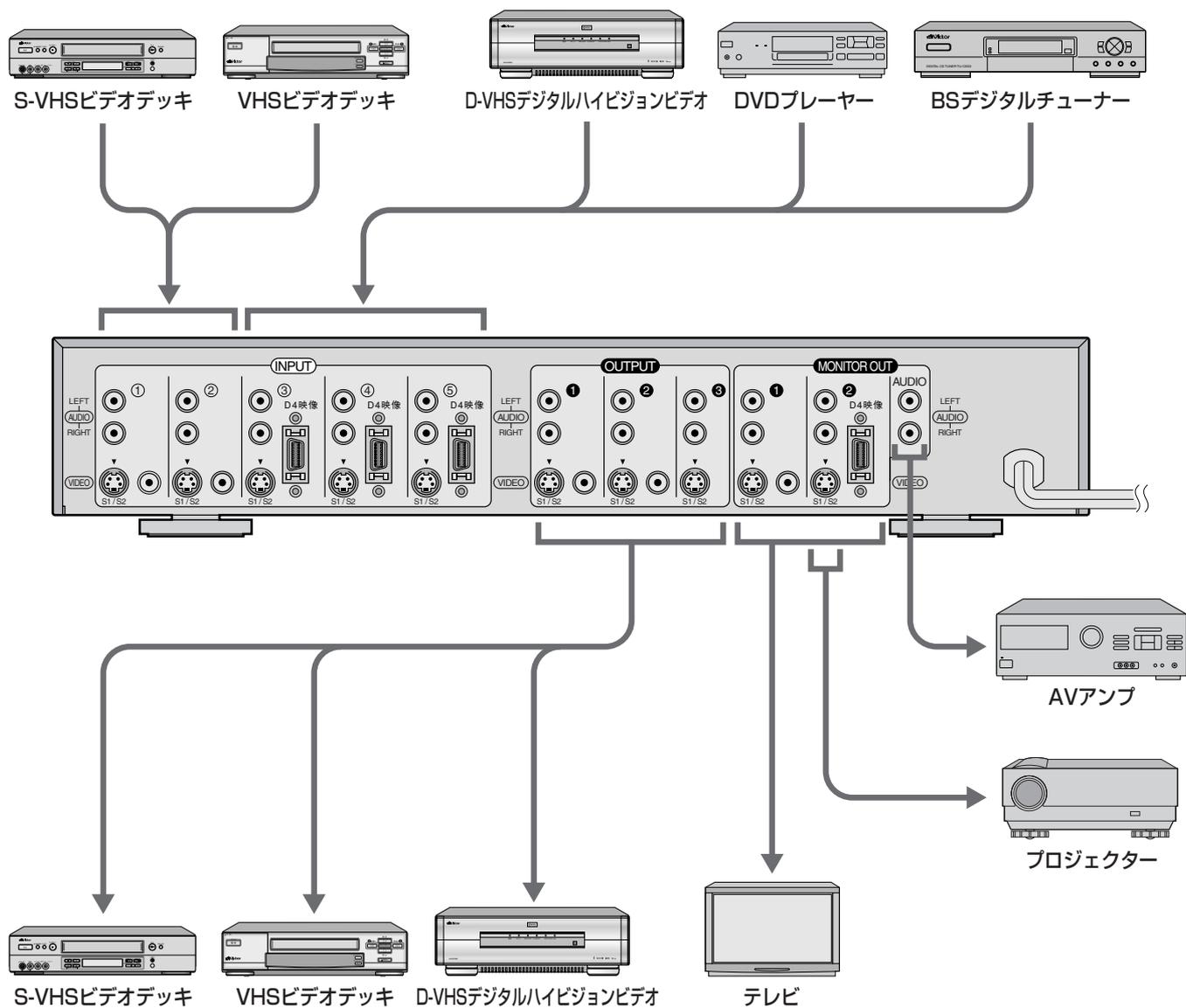
AV セレクター JX-S555 の箱には、以下のものが同梱されています。

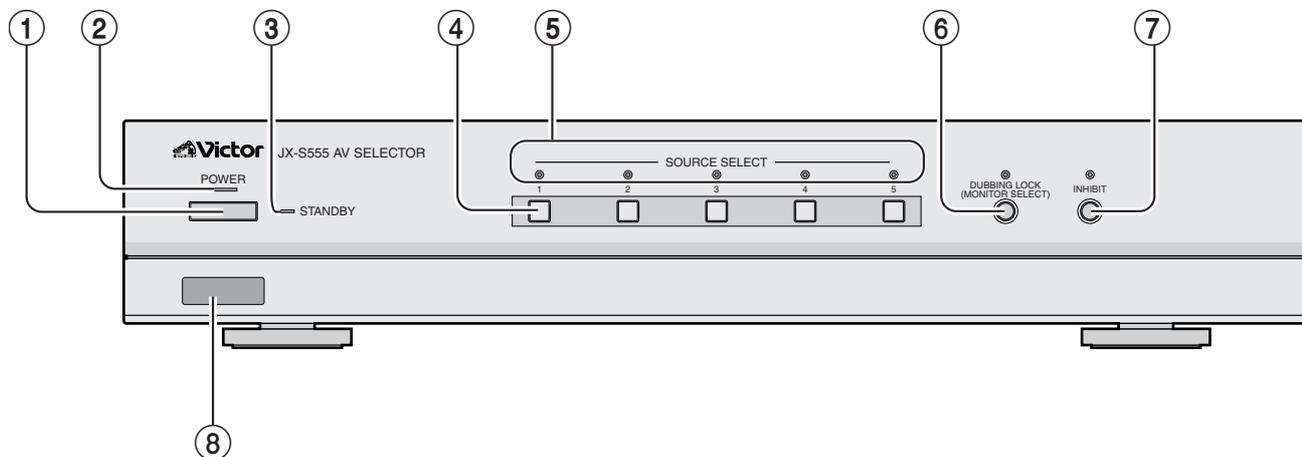
本体（JX-S555）

リモコン（RM-AS555）

単3乾電池2本

（動作確認用）

保証書

取扱説明書（本書）

システム構成例

AVセレクターで広がるAVワールド

各部の名称

本体前面

① POWER (電源) ボタン

電源を ON ／ OFF します。

② POWER (電源)ランプ

電源が「ON」のとき、緑色に点灯します。

③ STANDBY（スタンバイ） ランプ

電源が「ON」のときに消灯し、「OFF」のときに赤色に点灯し、スタンバイ状態になります。

このスタンバイ状態から再度、電源を「ON」にすると、電源を「OFF」にする前と同じ設定で使うことができます。

④ SOURCE（ソース） SELECT（セレクト） ボタン（☞**13**、**15**、**17**、**19**、**21**ページ）

入力機器をこの SOURCE SELECT ボタンで選びます。

⑤ SOURCE（ソース） SELECT（セレクト）ランプ （☞**13**、**15**、**17**、**19**、**21**ページ）

SOURCE SELECT で選ばれた入力機器のランプが赤色に点灯します。

⑥ DUBBING（ダビング） LOCK（ロック） ボタン（☞**16**、**21**、**24**ページ）
(MONITOR（モニター） SELECT（セレクト）)

POWER(電源) ボタンとINHIBIT ボタンの操作を無効にし、また出力端子へ出力する系統を固定するので、ダビング中の誤操作防止に便利です。

「ON」のとき、緑色に点灯します。

- この状態で SOURCE SELECT を操作すると、出力端子でダビング中の映像はそのままに、モニター出力端子からの映像だけが切換ります。

⑦ INHIBIT（インヒビット） ボタン（☞**15**、**17**、**23**ページ）

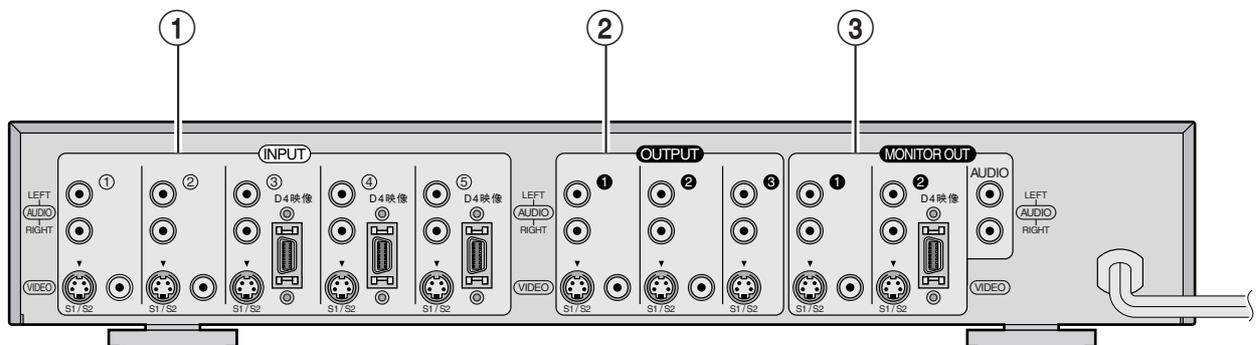
SOURCE SELECT で選んだ入力機器の番号と同じ番号の出力端子に信号を出力させないときに押します。

「ON」のとき、緑色に点灯します。

- ON ：入力端子と同じ番号の出力端子に信号（映像/音声）を出力しない。
- OFF：入力端子と同じ番号の出力端子に信号（映像/音声）を出力する。

⑧ リモコン受光部

リモコンの信号を受信します。

本体背面

① 入力端子（INPUT ①、②、③、④、⑤）

入力機器を、最大５系統まで接続することができます。

- 入力 ①､② ：S映像端子（S1/S2対応）、映像／音声入力端子
  ビデオデッキなどのAV機器のS映像、映像／音声出力端子と接続します。
- 入力 ③､④､⑤：S映像端子（S1/S2対応）､D4映像／音声入力端子
  DVDプレーヤー、BSデジタルチューナーなどのコンポーネント出力端子も接続できます。

- コンポーネント端子がY/Cb/CrやY/Pb/Prの3ピンの端子を持つ機器との接続は、3ピンーD端子変換コードを使用します。
- D4映像端子に入力された映像は、モニター出力端子のD4映像端子にのみ出力されます。(S映像／映像には変換されません)

② 出力端子（OUTPUT ❶､❷､❸）

出力機器を、最大３系統まで接続することができます。

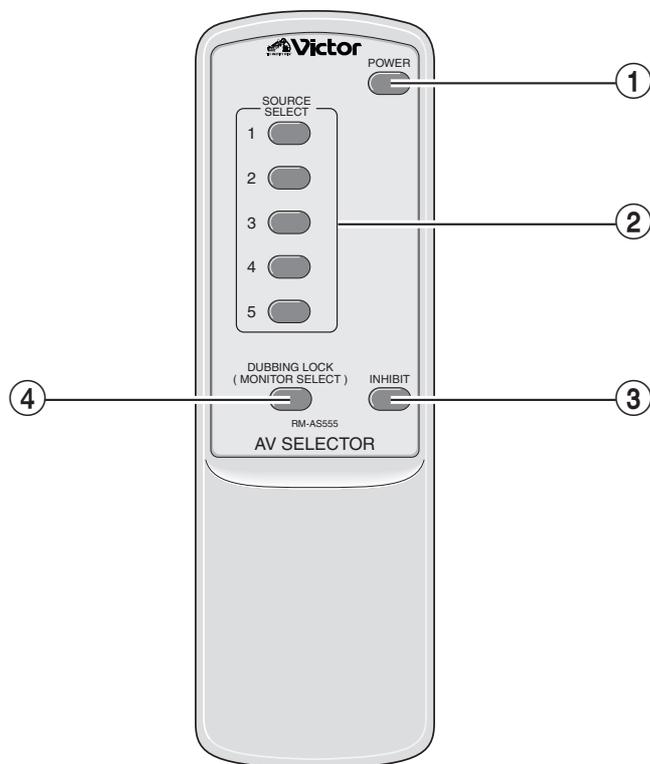
- 出力 ❶､❷ ：S映像端子（S1/S2対応）、映像／音声出力端子
  ビデオデッキなどのAV機器のS映像、映像／音声入力端子と接続します。
- 出力 ❸ ：S映像端子（S1/S2対応）、音声出力端子
  D-VHSデジタルハイビジョンビデオなどのS映像、映像／音声入力端子と接続します。

③ モニター出力端子（MONITOR OUT ❶､❷、AUDIO）

モニター出力機器を接続します。

- モニター出力 ❶ ：S映像端子（S1/S2対応）、映像／音声出力端子
  テレビのS映像､映像／音声入力端子と接続します。
- モニター出力 ❷ ：S映像端子（S1/S2対応）､D4映像／音声出力端子
  コンポーネント入力端子付きのテレビと接続します。

- テレビのコンポーネント入力端子と接続した場合にも､モニター出力❶のS映像／映像／音声出力端子をテレビの別系統の入力端子に接続します。
- コンポーネント端子がY/Cb/CrやY/Pb/Prの3ピンの端子を持つ機器との接続は､3ピンーD端子変換コードを使用します。
- モニター出力❶と❷のS映像／音声出力端子には､同じ信号が出力されます。

- モニター音声端子 ：AVアンプなどのステレオ機器の音声入力端子と接続します。

① POWER（電源）ボタン
電源をON／OFFします。

② SOURCE（ソース） SELECT（セレクト） ボタン（☞**13**、**15**、**17**、**19**、**21**ページ）
入力機器をこのSOURCE SELECTボタンで選びます。

③ INHIBIT（インヒビット） ボタン（☞**15**、**17**、**23**ページ）
SOURCE SELECTで選んだ入力機器の番号と同じ番号の出力端子に信号を出力させないときに押します。
（☞**23**ページ）

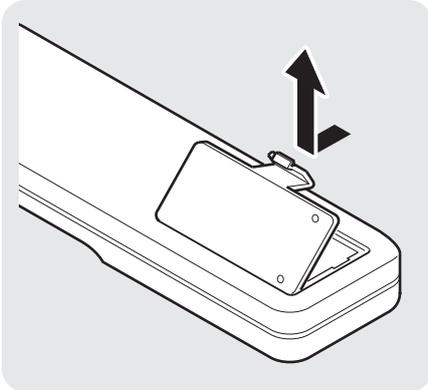
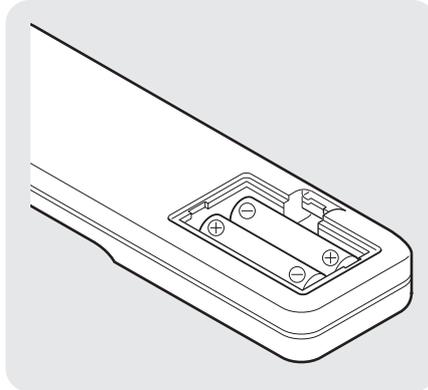
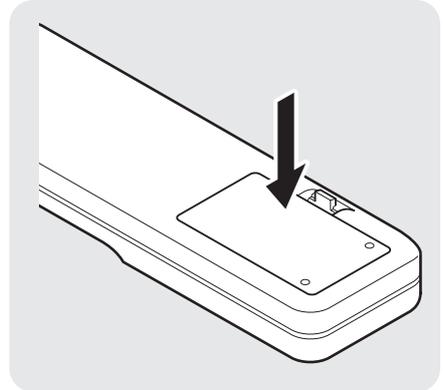
- ●ON　：入力端子と同じ番号の出力端子に信号（映像／音声）を出力しない。
- ●OFF　：入力端子と同じ番号の出力端子に信号（映像／音声）を出力する。

④ DUBBING（ダビング） LOCK（ロック） ボタン（☞**16**、**21**、**24**ページ）
(MONITOR（モニター） SELECT（セレクト）)
POWER(電源）ボタンとINHIBITボタンの操作を無効にし、また出力端子へ出力する系統を固定するので、ダビング中の誤操作防止に便利です。「ON」のとき、緑色に点灯します。

- ●この状態でSOURCE SELECTを操作すると、出力端子でダビング中の映像はそのままに、モニター出力端子からの映像だけが切換ります。

リモコンの使いかた

乾電池を入れる

つまみを押しながらフタを開ける

単３乾電池２本を入れる

フタを閉める

ご注意

乾電池使用上のご注意

乾電池の誤った使いかたをしますと液漏れや破裂する危険がありますので次の点にご注意ください。

1. 乾電池の ⊕ と ⊖ の向きを表示通り正しく入れてください。
2. 乾電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、火の中に投げ入れたりしないでください。
3. 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。

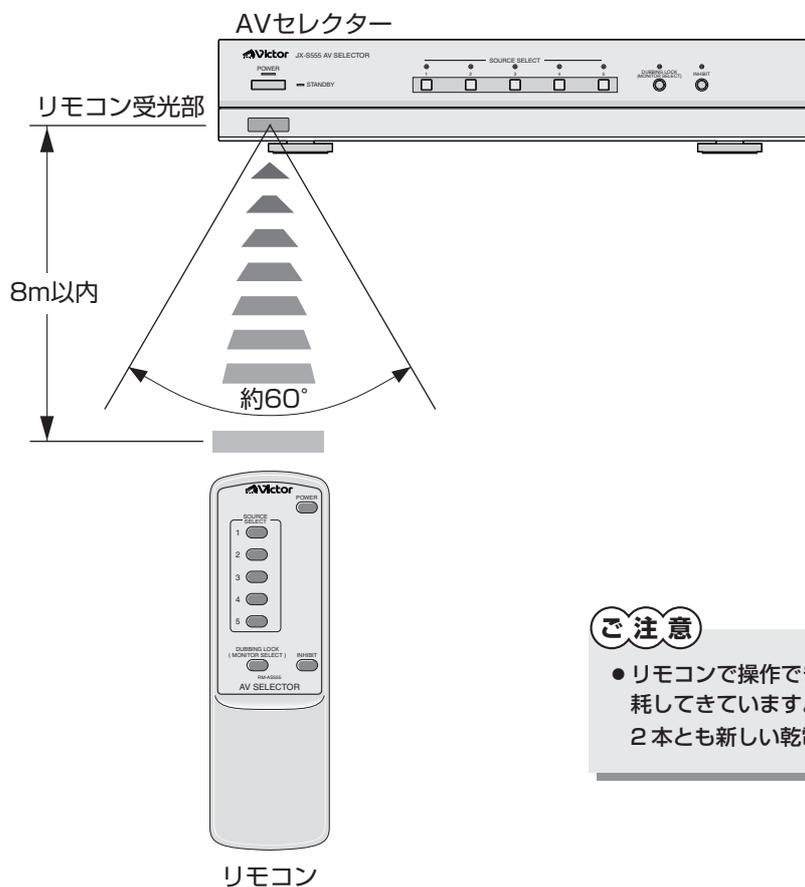
●乾電池に表示されている注意事項も合わせてお読みください。
※付属の乾電池は、お客様の動作確認用です。

リモコンの操作範囲

AVセレクター

リモコン受光部

8m以内

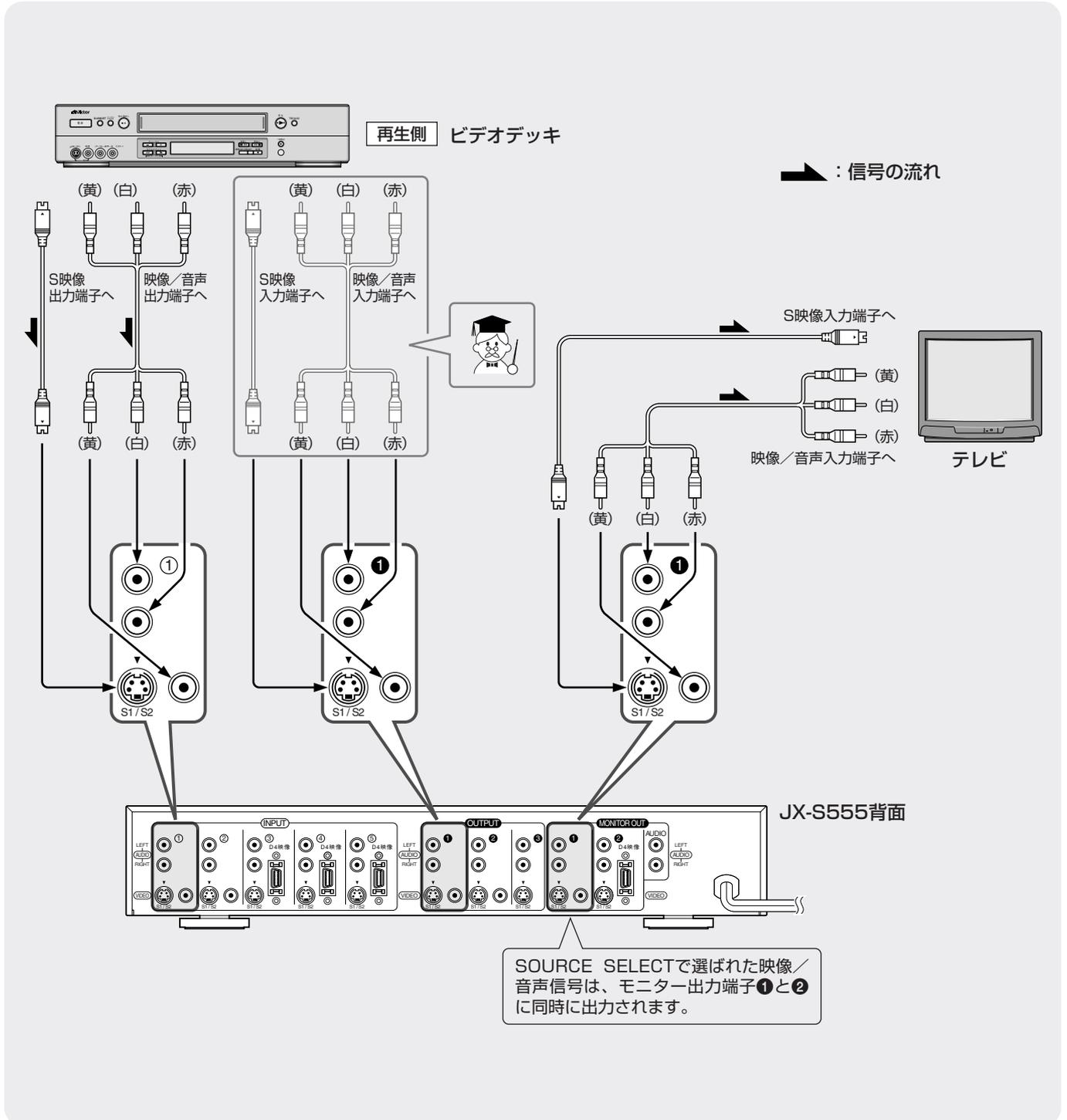
約60°

リモコン

ご注意

● リモコンで操作できる距離が短くなったときは、乾電池が消耗してきています。
２本とも新しい乾電池（単３乾電池）に交換してください。

ビデオを見る

ビデオデッキを JX-S555 の入力端子 1 に接続し、再生映像を見てみましょう。

●接続は一例を示したものです。各機器の接続および操作のしかたは、ご使用になる機器の取扱説明書をご覧ください。

再生側　ビデオデッキ

：信号の流れ

（黄）（白）（赤）

S映像
出力端子へ

映像／音声
出力端子へ

S映像
入力端子へ

映像／音声
入力端子へ

（黄）（白）（赤）

S映像入力端子へ

（黄）
（白）
（赤）
映像／音声入力端子へ

テレビ

（黄）（白）（赤）

①
❶
❶
S1 / S2

JX-S555背面

INPUT　OUTPUT　MONITOR OUT

SOURCE SELECTで選ばれた映像／
音声信号は、モニター出力端子❶と❷
に同時に出力されます。

- 接続は、各機器の電源を切ってから行ってください。
- S映像端子と映像端子（黄色）の両方をつなぐ必要はありませんが、テレビ、ビデオデッキにS映像入力／出力端子があるときは、S映像端子をつないでください。よりきれいな映像をお楽しみいただけます。
- S映像入力端子と映像入力端子の両方が接続されている場合、S映像入力端子が優先されます。

- ビデオデッキを録画用として使用できるように、JX-S555の出力端子と接続してお使いください。

1 「POWER」を押し、JX-S555の電源を入れる

● ON の状態を示すランプが緑色に点灯します。

POWER

2 SOURCE SELECTの「1」を押し、見たいビデオを選ぶ

● ON の状態を示すランプが赤色に点灯します。

1

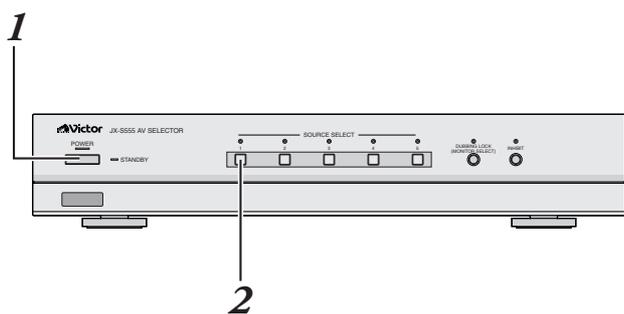
MEMO ● すでに JX-S555 の SOURCE SELECT 1 のランプが点灯しているときは、ボタンを押す必要はありません。

3 テレビの電源を入れて、入力を切換える

● テレビの電源を入れて、JX-S555のモニター出力端子と接続した入力を選びます。

4 ビデオデッキの電源を入れ、テープを再生する

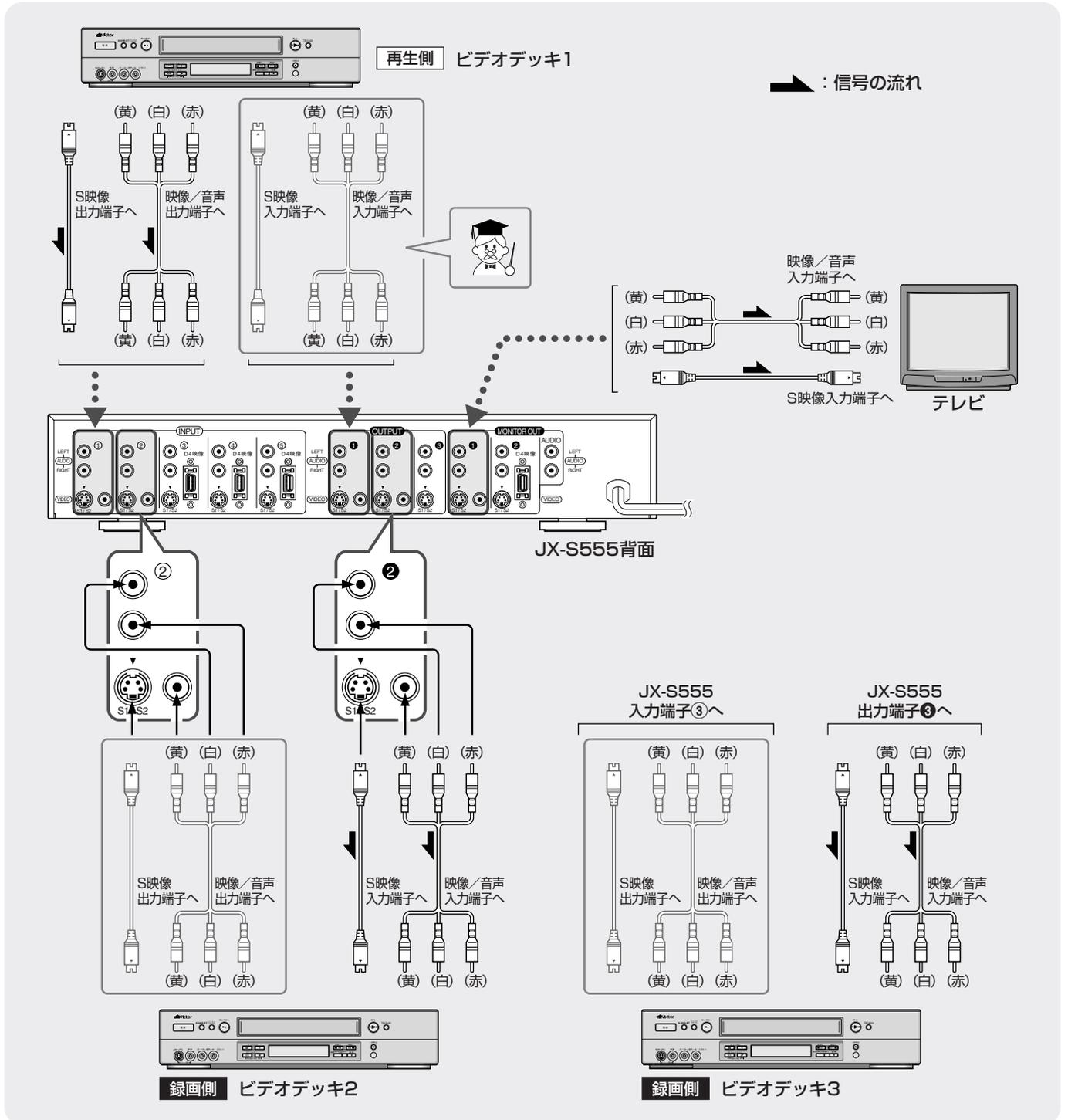
ビデオデッキ

再 生

● 他のビデオを見るには、そのビデオデッキが接続された番号の SOURCE SELECT に切換えてください。

● INHIBIT は ON の状態にしてお使いください。(☞**23** ページ)
● DUBBING LOCK ボタンを押すと POWER や INHIBIT のボタン操作は無効になります。(☞**24** ページ)

ダビングする（マルチダビング）

ビデオデッキ１を入力端子１に接続、ビデオデッキ２、３を出力端子２、３に接続し、ダビングしてみましょう。

●接続は一例を示したものです。各機器の接続および操作のしかたは、ご使用になる機器の取扱説明書をご覧ください。

再生側　ビデオデッキ1

：信号の流れ

（黄）（白）（赤）

S映像
出力端子へ

映像／音声
出力端子へ

S映像
入力端子へ

映像／音声
入力端子へ

映像／音声
入力端子へ

S映像入力端子へ

テレビ

INPUT　OUTPUT　MONITOR OUT

JX-S555背面

JX-S555
入力端子③へ

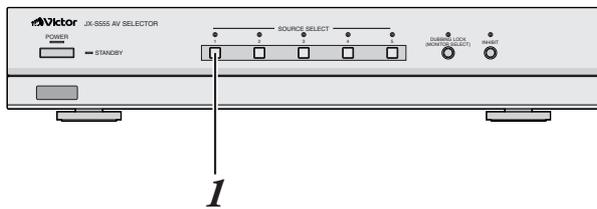
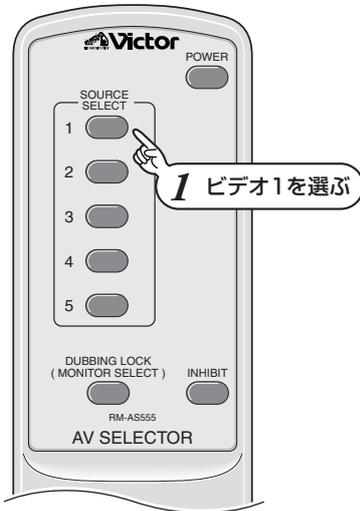
JX-S555
出力端子❸へ

録画側　ビデオデッキ2

録画側　ビデオデッキ3

- 接続は、各機器の電源を切ってから行ってください。
- S映像端子と映像端子（黄色）の両方をつなぐ必要はありませんが、テレビ、ビデオデッキにS映像入力／出力端子があるときは、S映像端子をつないでください。よりきれいな映像をお楽しみいただけます。
- S映像入力端子と映像入力端子の両方が接続されている場合、S映像入力端子が優先されます。

- ビデオデッキ１を録画用としても使用できるように、JX-S555の出力端子 ❶ と接続してお使いください。
（ビデオデッキ２、３は、JX-S555 の入力端子 ②、③ と接続してお使いください。）

- JX-S555 の電源を入れてください。
- テレビの電源を入れて、JX-S555 のモニター出力端子と接続した入力を選びます。
- ビデオデッキの電源を入れて、ダビングする準備をしておきます。

- ダビングした映像を見るには、そのビデオデッキが接続された番号の SOURCE SELECT に切換えてください。

1 SOURCE SELECTの「1」を押し、ビデオデッキ1を入力機器として設定する

- ON の状態を示すランプが赤色に点灯します。

- すでに JX-S555 の SOURCE SELECT 1 のランプが点灯しているときは、ボタンを押す必要はありません。

2 ビデオデッキ 1 の映像を再生する

ビデオデッキ1

3 ビデオデッキ2、3の録画を開始する

ビデオデッキ2、3

ご注意

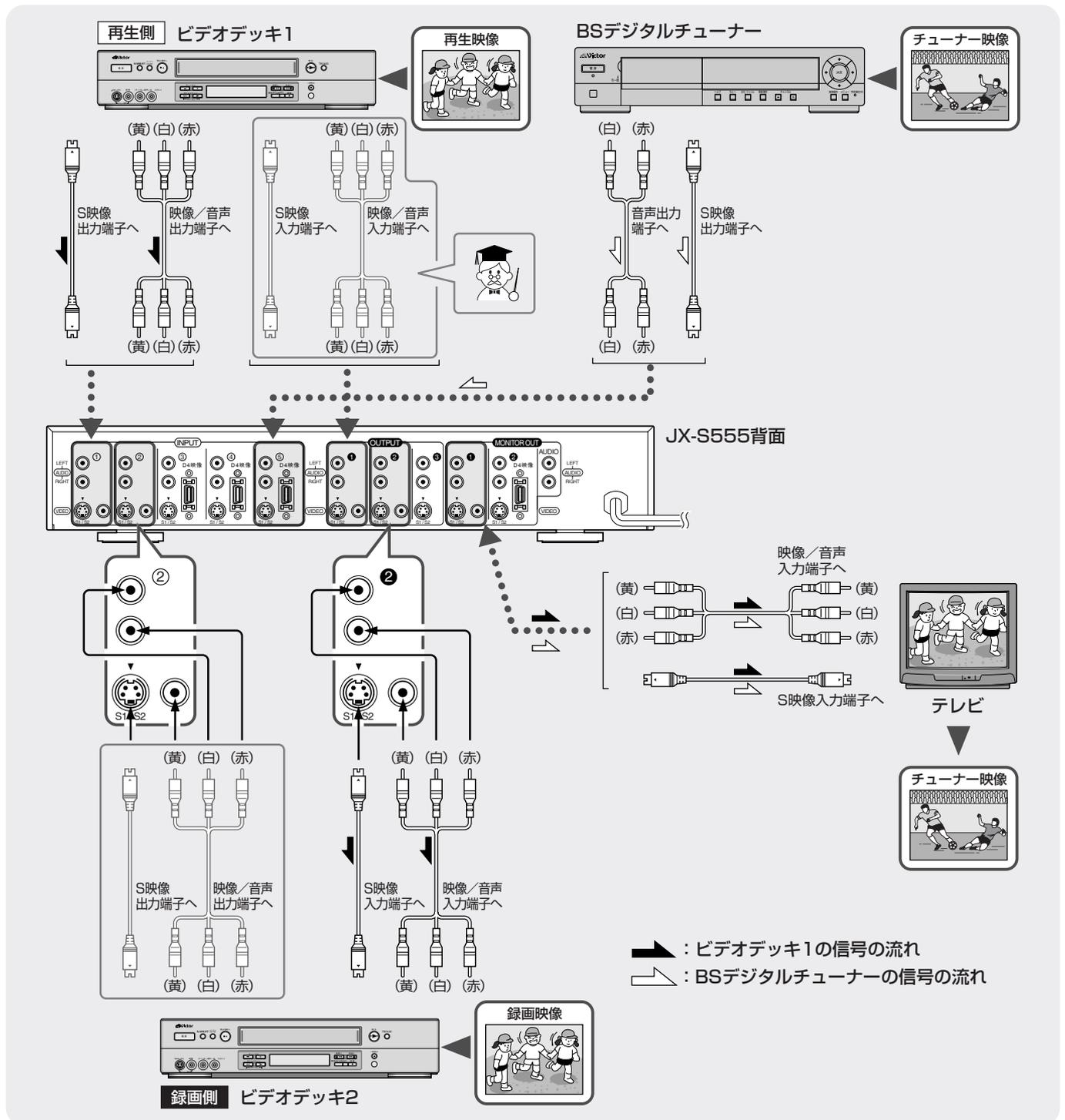
- ダビングするときは、録画用ビデオデッキの入力切換えスイッチなどを必ず外部入力モード(AUXなど)にしてください。
- S 映像入力端子を使って録画するときは、録画用ビデオを "S 入力 " にしてください。

ご注意

- INHIBIT は ON の状態にしてお使いください。(☞**23** ページ)
- ビデオのソフトによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなソフトをビデオデッキでダビングすると、コピーガードシステムにより正常にダビングできません。
- あなたがビデオテープなどに録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

録画しながら他の映像を見る（ダビングロック）

再生用のビデオデッキ1を入力端子1に接続し、録画用ビデオデッキを出力端子2に接続します。つぎにBSデジタルチューナーを入力端子5に接続し、ダビングしながらBSデジタルチューナーの映像を見てみましょう。

●接続は一例を示したものです。各機器の接続および操作のしかたは、ご使用になる機器の取扱説明書をご覧ください。

再生側　ビデオデッキ1

再生映像

BSデジタルチューナー

チューナー映像

（黄）（白）（赤）

S映像
出力端子へ

映像／音声
出力端子へ

S映像
入力端子へ

映像／音声
入力端子へ

（白）（赤）

音声出力
端子へ

S映像
出力端子へ

JX-S555背面

映像／音声
入力端子へ

（黄）（白）（赤）

S映像入力端子へ

テレビ

チューナー映像

S映像
出力端子へ

映像／音声
出力端子へ

S映像
入力端子へ

映像／音声
入力端子へ

：ビデオデッキ1の信号の流れ

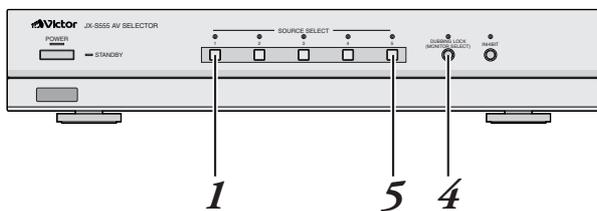
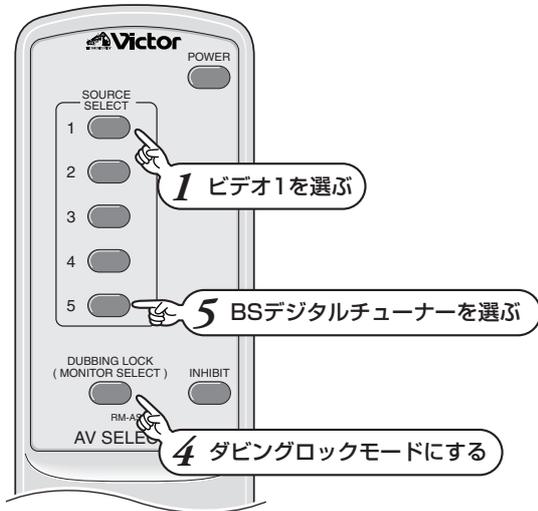
：BSデジタルチューナーの信号の流れ

録画映像

録画側　ビデオデッキ2

- 接続は、各機器の電源を切ってから行ってください。
- S映像端子と映像端子（黄色）の両方をつなぐ必要はありませんが、テレビ、ビデオデッキにS映像入力／出力端子があるときは、S映像端子をつないでください。よりきれいな映像をお楽しみいただけます。
- S映像入力端子と映像入力端子の両方が接続されている場合、S映像入力端子が優先されます。

- ビデオデッキ1を録画用としても使用できるように、JX-S555の出力端子 ❶ と接続してお使いください。
（ビデオデッキ2は、JX-S555の入力端子 ② と接続してお使いください。）

- JX-S555 の電源を入れてください。
- テレビの電源を入れて、JX-S555 のモニター出力端子と接続した入力を選びます。
- ビデオデッキと BS デジタルチューナーの電源を入れて、ダビングする準備をしておきます。

ダビングロックモードを解除するときは、、、

- 再度、「DUBBING LOCK」を押してください。

- ダビングロックモード中に、SOURCE SELECTを切換えると、ダビング中の映像はそのままに、モニター出力端子に接続されたテレビの映像のみを切換えることができます。

1 SOURCE SELECTの「1」を押し、ビデオデッキ1を入力機器として設定する

- ON の状態を示すランプが赤色に点灯します。

- すでに JX-S555 の SOURCE SELECT 1 のランプが点灯しているときは、ボタンを押す必要はありません。

2 ビデオデッキ1の映像を再生する

- テレビ画面にビデオデッキ 1 の映像がでます。

3 ビデオデッキ2の録画を開始する

4 「DUBBING LOCK」を押し、ダビングロックモードにする

- ON の状態を示すランプが緑色に点灯します。

DUBBING LOCK
(MONITOR SELECT)

5 SOURCE SELECTの「5」を押し、BSデジタルチューナーの映像を見る

- SOURCE SELECT の 1 と 5 のランプが赤色に点灯します。
- テレビ画面にBS デジタルチューナーの映像がでます。

ご注意

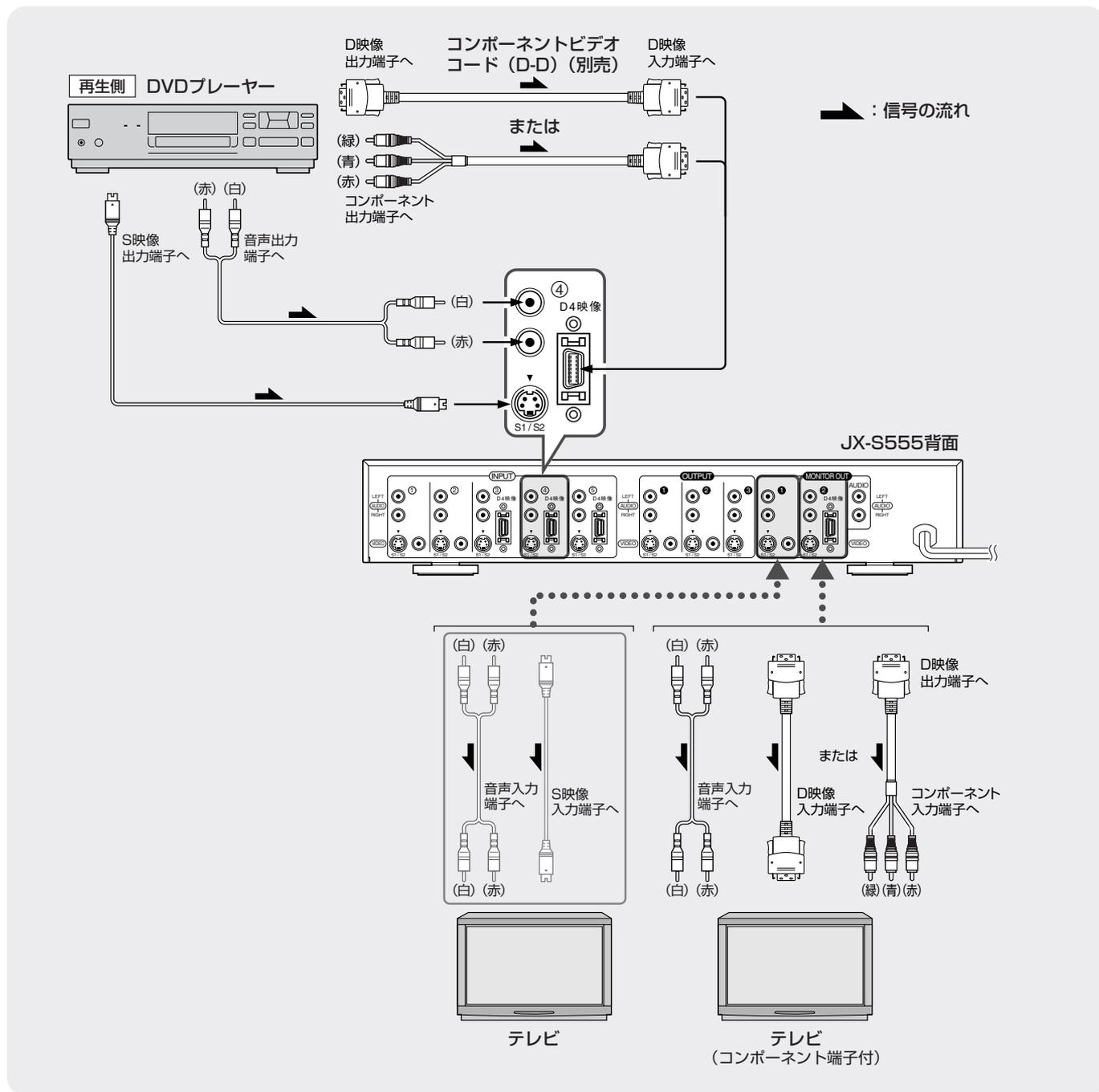
- INHIBIT は ON 状態にしてお使いください。(☞**23** ページ)
- DUBBING LOCK ボタンを押すと、POWER および INHIBIT のボタン操作は無効になります。(☞**24** ページ)

コンポーネント端子付き機器の映像を見る（コンポーネント接続）

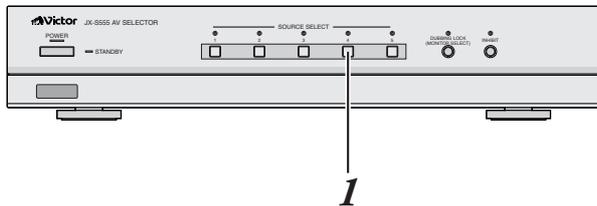
DVDプレーヤーを入力端子４と接続し、コンポーネント端子付テレビをモニター出力端子２に接続します。

●接続は一例を示したものです。各機器の接続および操作のしかたは、ご使用になる機器の取扱説明書をご覧ください。

再生側 DVDプレーヤー

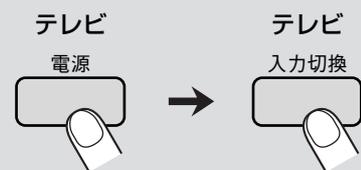
D映像出力端子へ
コンポーネントビデオコード（D-D）（別売）
D映像入力端子へ
または
（緑）（青）（赤）
コンポーネント出力端子へ
：信号の流れ
（赤）（白）
S映像出力端子へ
音声出力端子へ
（白）
（赤）
④ D4映像
S1 / S2
JX-S555背面
（白）（赤）
音声入力端子へ
S映像入力端子へ
（白）（赤）
（白）（赤）
音声入力端子へ
D映像入力端子へ
D映像出力端子へ
または
コンポーネント入力端子へ
（白）（赤）
（緑）（青）（赤）
テレビ
テレビ（コンポーネント端子付）

- 接続は、各機器の電源を切ってから行ってください。
- コンポーネントビデオコードで接続する場合でも、S映像コードと音声コードをあわせて接続してください。音声コードを接続しないと音声が出力しません。
- 入力端子 ③ ～ ⑤ のD映像入力からの映像は、モニター出力端子 ❷ のD映像出力端子にのみ出力されます。ビデオ映像やS映像には変換されません。
- 入力端子 ① ～ ② に接続された映像を見るため、テレビはモニター出力端子 ❶ とも接続してください。

- DVDプレーヤーなどとテレビのD映像端子をコンポーネント接続すると、D1、D2などの映像信号フォーマットと画面サイズが自動的に切換わります。
  D端子と映像ピンの変換コードで接続する場合は、機器によって変わります。どのように映るかは、JX-S555を通さずに、直接接続した時と同じです。
- JX-S555は、D1、D2、D3、D4の映像信号フォーマットに対応しています。

● JX-S555の電源を入れてください。

1 SOURCE SELECTの「4」を押し、DVDプレーヤーを入力機器として設定する

● ON の状態を示すランプが赤色に点灯します。

MEMO ● すでに JX-S555 の SOURCE SELECT 4のランプが点灯しているときは、ボタンを押す必要はありません。

2 テレビの電源を入れ、入力をコンポーネント入力に切換える

3 DVDプレーヤーの映像を再生する

● テレビ画面にDVDプレーヤーの映像がでます。

基本操作

ご注意

● DVD のソフトによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなソフトをビデオデッキでダビングすると、コピーガードシステムにより正常にダビングできません。

● あなたがビデオテープなどに録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ホームシアター

DVDソフトをシアター的に見ながら、ビデオデッキの映像／音声を複数のビデオデッキにダビングしてみましょう

●接続は一例を示したものです。各機器の接続および操作のしかたは、ご使用になる機器の取扱説明書をご覧ください。

スピーカー

スクリーン

スピーカー

スピーカー

スピーカー

スピーカー

プロジェクター

S-VHSビデオデッキ3

モニター出力2のD映像端子、S映像端子より

AVアンプ

S-VHSビデオデッキ2

モニター出力の音声端子より

出力2のS映像端子、音声端子より

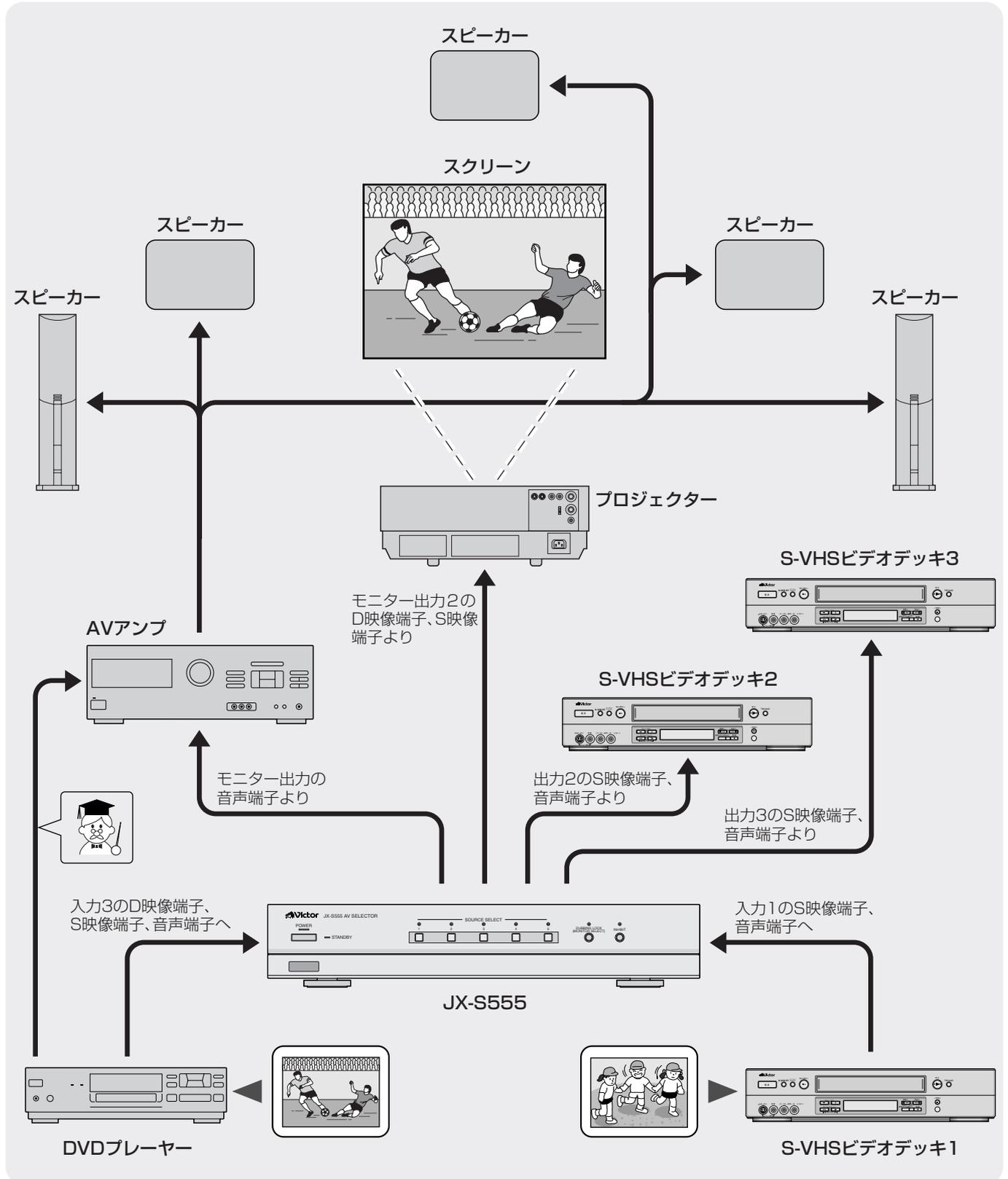
出力3のS映像端子、音声端子より

入力3のD映像端子、S映像端子、音声端子へ

入力1のS映像端子、音声端子へ

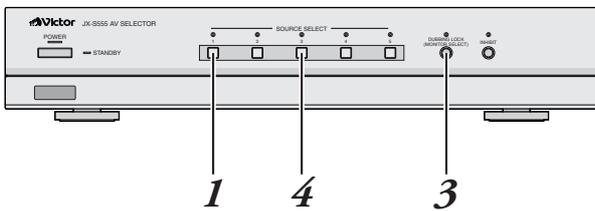
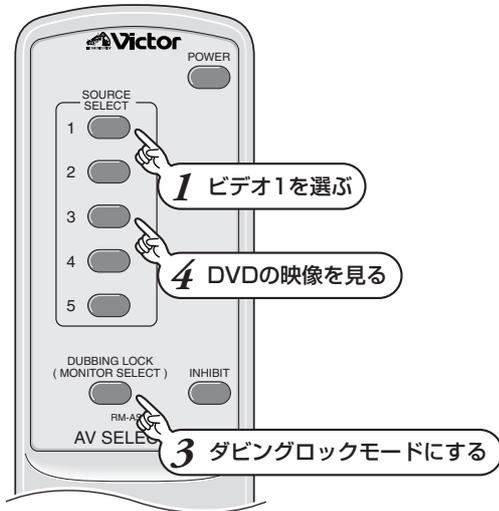
JX-S555

DVDプレーヤー

S-VHSビデオデッキ1

● 接続は、各機器の電源を切ってから行ってください。

● デジタルサラウンドを楽しむ場合は、光端子などをAVアンプと直接つないでください。

準備

- JX-S555の電源を入れてください。
- 使用する機器の電源を入れて、入力を切換えるなどの準備をしておきます。

- ダビング中であっても「DUBBING LOCK」を押すことにより、ダビング中の映像はそのままに、SOURCE SELECTで選ばれた他の映像を見ることができます。

1 SOURCE SELECTの「1」を押し、ビデオデッキ1を入力機器として設定する

- ONの状態を示すランプが赤色に点灯します。

1

- すでにJX-S555のSOURCE SELECT 1のランプが点灯しているときは、ボタンを押す必要はありません。

2 ビデオデッキ1を再生し、ビデオデッキ2、3の録画を開始する

ビデオデッキ1 ビデオデッキ2、3

3 「DUBBING LOCK」を押し、ダビングロックモードにする

- ONの状態を示すランプが緑色に点灯します。

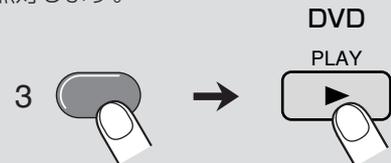
DUBBING LOCK
(MONITOR SELECT)

4 SOURCE SELECTの「3」を押し、スクリーンでDVDの映像を見る

- SOURCE SELECTの1と3のランプが赤色に点灯します。

応用操作

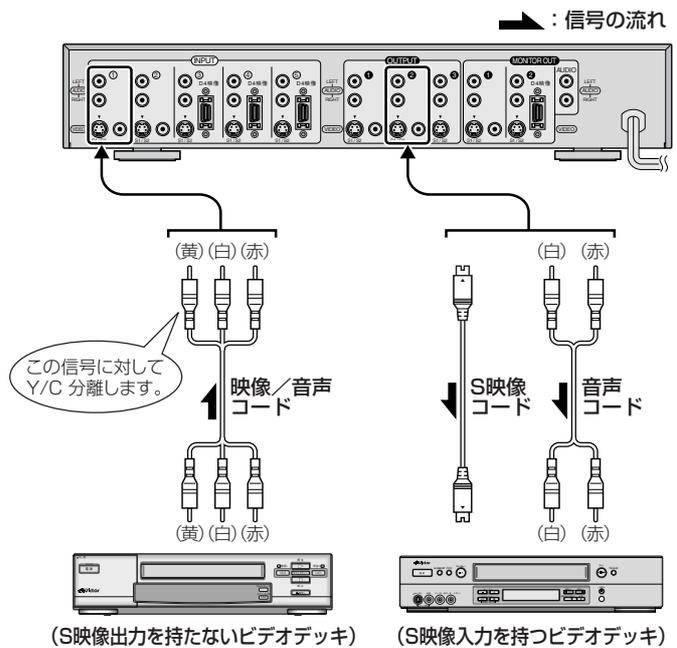
ご注意

- DVDのソフトによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなソフトをビデオデッキでダビングすると、コピーガードシステムにより正常にダビングできません。
- あなたがビデオテープなどに録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- DUBBING LOCKボタンを押すと、POWERおよびINHIBITのボタン操作は無効になります。（☞**24**ページ）

S映像入出力端子について

- S映像入出力端子は、映像信号のY/C（輝度信号／色信号）のセパレート信号の端子です。
- S映像端子付きビデオデッキの録画再生時に接続し、映像信号のロスをおさえ、よりきれいな録画再生ができます。
- S映像端子のないビデオデッキは映像端子に接続します。映像端子は、Y/C（輝度信号／色信号）の合成信号（コンポジット信号）の端子です。

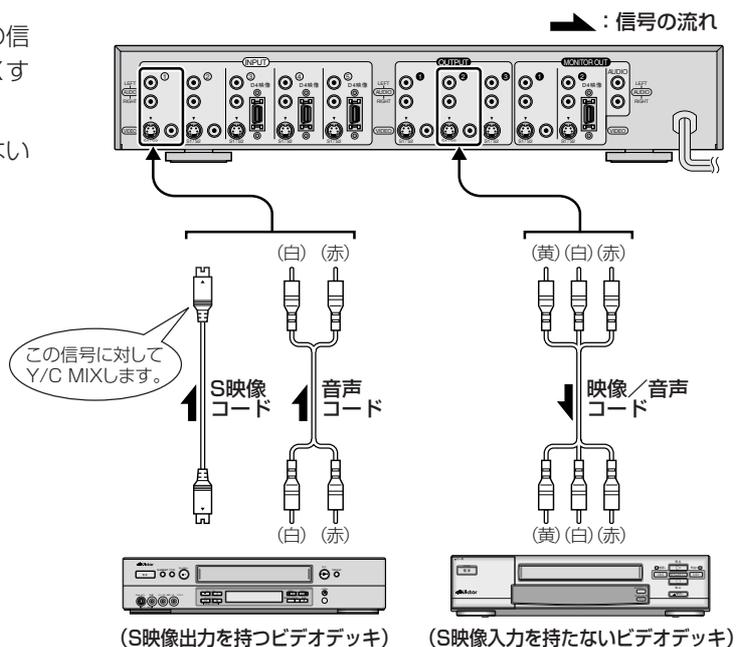
Y/C分離について

- JX-S555の出力端子には、映像入力端子からの信号（コンポジット信号）を、Y/C（輝度信号／色信号）に分離する回路を内蔵しています。

  S映像端子のないビデオデッキからS映像端子付きのビデオデッキへダビングをする場合やS映像端子付きのテレビを使って見るときに便利です。

Y/C分離の例

Y/C MIX（ミックス）について

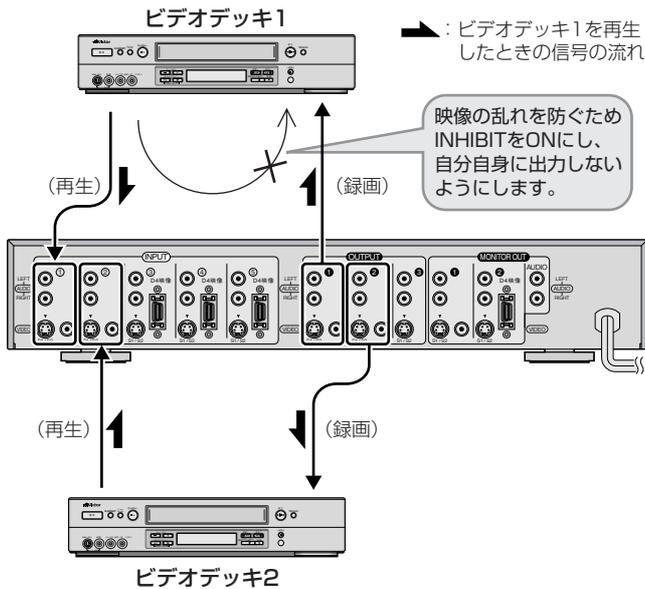
- JX-S555の出力端子には、S映像入力端子からの信号（セパレート信号）を、コンポジット信号にMIXする回路を内蔵しています。

  S映像端子付きビデオデッキからS映像端子のないビデオデッキへダビングする場合に便利です。

Y/C MIXの例

INHIBIT（インヒビット）について

INHIBITのON/OFFは、入力端子と同じ番号の出力端子に出力信号（映像／音声）を出すか否かを設定する機能です。通常はON状態でご使用ください。

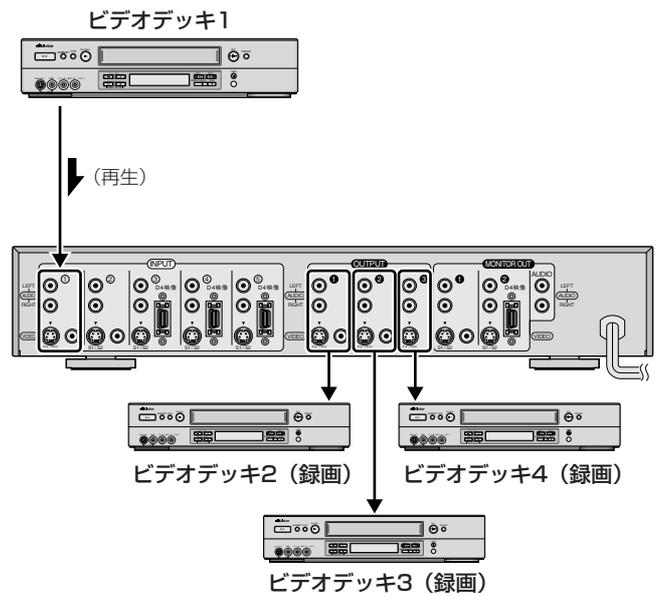
■ INHIBIT ON（出力しない）

[INHIBITランプ点灯]

● マルチダビングなどビデオデッキ1、2どちらも録画／再生用として使用する場合、JX-S555の入出力端子1をビデオデッキ1に、入出力端子2をビデオデッキ2に接続します。

INHIBITがOFFの場合、ビデオデッキ1を再生すると、ビデオデッキ2にビデオデッキ1の映像／音声信号が出力されますが、ビデオデッキ1にも出力されます。（JX-S555の出力端子1とビデオデッキ1の入力端子が接続されているため）

この場合、ビデオデッキ1の映像が乱れ正常にダビングできなくなります。映像の乱れを防止するため、INHIBITをONにし、出力端子1に信号を出力しないようにします。

■ INHIBIT OFF（出力する）

[INHIBITランプ消灯]

● ビデオデッキ1から3台のビデオデッキにダビングする場合、JX-S555の入出力端子1とビデオデッキ1の入出力端子が接続されていると、出力端子が1つ足りなくなります。

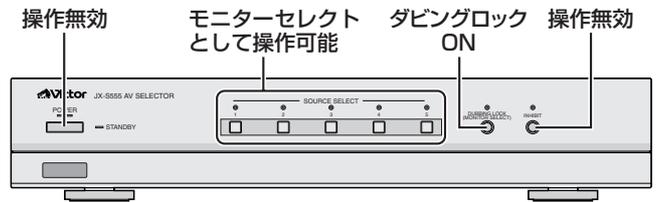
出力端子を1つ拡張したいときにINHIBITをOFFにし、JX-S555の出力端子1に録画用ビデオデッキを接続します。

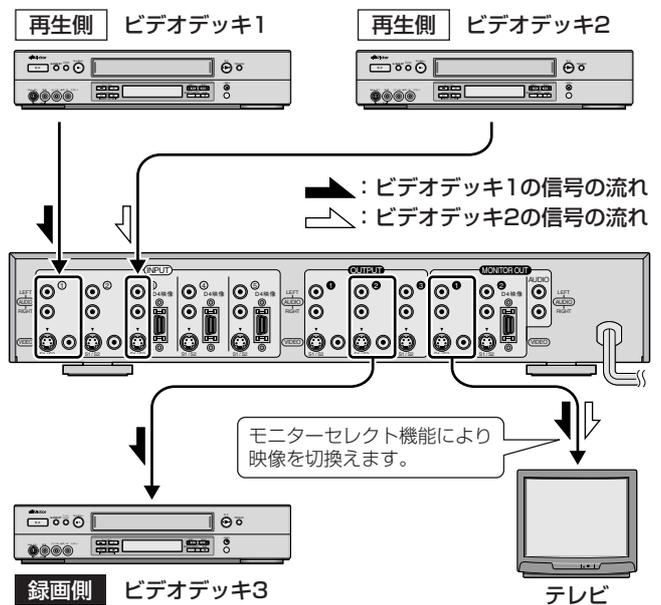
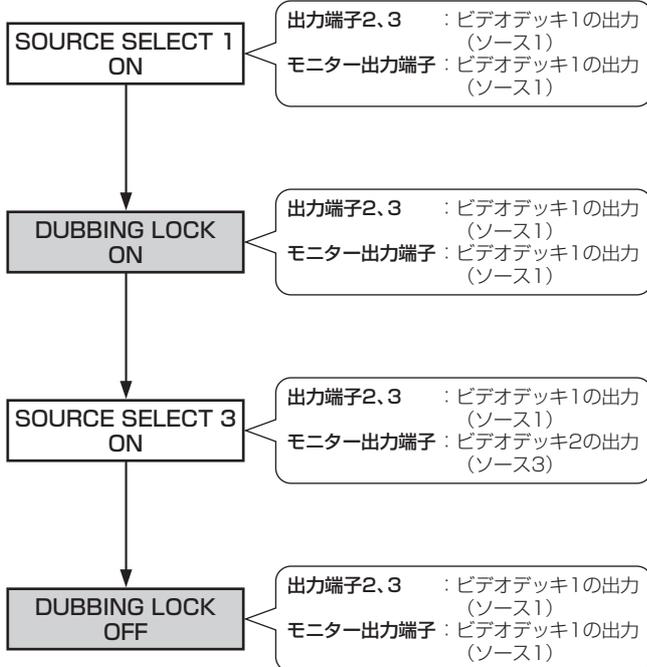
INHIBITをOFFにすると、全出力端子に同じ信号を出力します。

DUBBING LOCK ボタンについて

● DUBBING LOCK ボタンは
誤操作防止のダビングロック機能、録画しながら他の映像を見るためのモニターセレクト機能として使用できます。

― ダビングロック機能 ―

録画用ビデオデッキなどが動作中のとき、“DUBBING LOCK”ボタンを押すと、“POWER”ボタンと“INHIBIT”ボタンの操作を無効にします。
また誤って、SOURCE SELECT のボタンを押してもダビングロック機能が働いているため、出力端子に出力される信号は変わらず、そのまま録画が行われます。

― モニターセレクト機能 ―

“録画しながら他の映像を見る”ときなどに使います。録画中に“DUBBING LOCK”ボタンを押しダビングロックモードにした場合、SOURCE SELECT ボタンにてテレビで見る映像を切換えることができます。
（SOURCE SELECT の 1 と 3 のランプが赤色に点灯します。）

● ダビングロックボタンを使った
モニターセレクト機能の流れ

コンポーネント接続について

● JX-S555を通して、DVDプレーヤーやBSデジタルチューナー（コンポーネント出力端子付き）とテレビ（コンポーネント入力端子付き）をつなぐ場合には、コンポーネント(D端子)接続をお勧めします。

DVDのディスクにはビデオデッキなどで使われているコンポジット信号やS映像信号に比べて、より元の信号に忠実な色彩が再現できるコンポーネントビデオ（Y色差）信号形式で記録されています。

コンポーネント接続では、DVDのディスクに記録されている信号をそのままテレビに出力しますので、DVDの持つ美しい映像を再現することができます。

ブロックダイヤグラム

入力1
映像／S映像
オーディオ
入力2
映像／S映像
オーディオ
入力3
S映像
オーディオ
入力4
S映像
オーディオ
入力5
S映像
オーディオ
入力切換回路
オーディオ信号
S映像信号
S／V切換回路
Y／C分離回路
Y／C混合回路
映像信号
S／V切換回路
S映像信号
（モニター）
S／V切換回路
Y／C分離回路
Y／C混合回路
映像信号
（モニター）
S／V切換回路
オーディオ信号
（モニター）
入力3　D4映像
入力4　D4映像
入力5　D4映像
入力切換回路
コンポーネント映像信号
（モニター）

オーディオ信号
S映像信号
6 d B
出力切換回路
(INHIBIT)
映像信号
6 d B
映像／S映像
出力 1
オーディオ
映像／S映像
出力 2
オーディオ
S映像
出力 3
オーディオ
S映像信号
(モニター)
6 d B
映像信号
(モニター)
6 d B
オーディオ信号
(モニター)
オーディオ
モニター出力 1
映像／S映像
オーディオ出力
オーディオ
S映像
モニター出力 2
コンポーネント映像信号
(モニター)
6 d B
D 4 映像

故障かな？と思う前に

● JX-S555は、マイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。下記の項目を確認しても直らないときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、再度差し込み動作を確認してください。

症状		原因	処置	ページ
電源	電源が入らない	• 電源コードがコンセントから抜けていませんか？	• 電源コードをコンセントにしっかりと差し込んでください。	—
	電源が OFF できない	• ダビングロック機能がONになっていませんか？	• ダビングロック機能をOFFにしてから電源ボタンを押してOFFにしてください。	17、24
再生	見たい映像が見られない	• ビデオ機器が入出力端子に正しく接続されていますか？	• もう一度、確かめて正しく接続してください。	12、16
		• モニター出力端子にテレビが正しく接続されていますか？	• もう一度、確かめて正しく接続してください。	12、16
	ビデオデッキを再生すると映像が乱れる	• INHIBIT が OFF になっていませんか？	• INHIBIT を ON にしてください。	23
録画	ダビングしたはずのテープに映像が録画されていない	• 再生用または録画用ビデオデッキは入 / 出力端子に正しく接続され、ソースセレクトボタンが正しく選ばれていますか？	• もう一度、確かめて正しく接続し、ソースセレクトボタンを選んでください。	14、15
		• ダビングロック機能がONになっていませんか？	• ダビングロック機能をOFFにしてからソースセレクトボタンを選んでください。	16、24
		• 録画用ビデオデッキの入力切換スイッチが "外部" になっていますか？	• 録画側ビデオデッキの入力切換スイッチを "外部" にしてください。	15
		• 録画側の S 映像端子付きビデオデッキにおいて、映像の切換スイッチの"S入力信号"、"ビデオ入力信号" が正しく設定されていますか？	• 録画側ビデオデッキの映像切換スイッチを正しく合わせてください。	15
	D端子で接続した機器からダビングができない	• S端子も同時に接続していますか？ • D端子からS映像/映像端子には変換されません。	• 入力端子にD端子とS端子を同時に接続すれば、ダビングが可能になります。 • DVDのソフトによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなソフトをビデオデッキでダビングすると、コピーガードシステムにより正常にダビングできません。	18、19
	ダビングしたテープに音声が録音されていない	• ビデオ機器などが音声入力端子に正しく接続されていますか?	• もう一度、確かめて正しく接続してください。	14

症　状		原　因	処　置	ページ
見る	テレビに映像が映らない	• 再生用機器のソースセレクトボタンが正しく選ばれていますか？	• もう一度、確かめてソースセレクトボタンを選んでください。	**12、13**
		• モニター出力端子にテレビが正しく接続されていますか？	• もう一度、確かめて正しく接続してください。	**12、13**
		• テレビの入力切換スイッチを間違えていませんか？	• テレビの入力切換スイッチを確認してください。	**12、13**
	コンポーネント端子付きテレビに映像が映らない	• D端子付きのテレビの接続や設定を間違えていませんか ？	• もう一度、テレビの取扱説明書を見ながら設定とD端子の接続を確かめてください。D端子が無いテレビの場合でも、Y/Cb/CrまたはY/Pb/Pr端子付きであれば、変換コードを使用して接続が可能です。	**18**
他	リモコン操作ができない	• リモコンの乾電池が消耗していませんか？	• リモコンの乾電池を2本とも新しい乾電池に交換してください。	**11**
		• 乾電池の極性（⊕と⊖）を間違えて入れていませんか？	• 正しく入れ直してください。	**11**

ビクターサービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	苫小牧S.S.	(0144)34-6682	053-0032	苫小牧市緑町2-7-11
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154)24-0797	085-0036	釧路市若竹町6-13
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16函館あおば生命ビル1F
東北				
青森	青森S.C.	(0177)23-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031-0804	八戸市青葉2-21-2
	弘前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)28-4991	970-8034	いわき市平上荒川字桜町19-4
	会津若松S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101号
	福島S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(025)241-4003	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下下条2-1366-1
	上越S.S.	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(026)221-7607	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0837	松本市鎌田2-3-50
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(027)255-5982	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	前橋S.C.	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(028)635-2938	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	宇都宮S.C.	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	土浦S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1丁目10-1
	水戸S.S.	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(055)227-5773	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	甲府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	木更津S.S.	(0438)23-3035	292-0000	木更津市清見台2-1-3 グレイスビル1F
	柏S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	首都圏メンテナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	大宮市東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
	川越S.S.	(0492)42-4496	350-1106	川越市小室491-1
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	横須賀S.S.	(0468)34-9261	239-0831	横須賀市久里浜6-4-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
静岡				
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼津S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
東海・北陸				
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.C.	(0564)26-1005	444-2133	岡崎市井ノ口町字河原西31-1
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町4丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本4丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

1000

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
		近畿		
滋賀	滋賀S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31番地の1
京都北部	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良S.S.	(07442)4-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	大阪南S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
		中国		
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広島	広島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口S.C.	(0839)73-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
		四国		
香川	高松S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
	新居浜S.S.	(0897)67-1030	792-0881	新居浜市松神子2-2-25
		九州・沖縄		
福岡	福岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	802-0065	北九州市小倉北区三萩野2-9-3
佐賀	佐賀S.S.	(0952)26-8785	840-0023	佐賀市本庄町大字袋265-1
長崎	長崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.C.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上7丁目9-8
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
		山陰		
島根	山陰ビクター販売(株)サービスセンター(松江・米子担当)	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1丁目16-39
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
	浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
鳥取	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1

●ビクター製品についてのご相談窓口

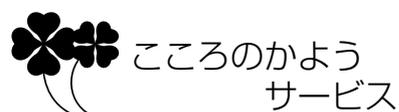
お買物相談、お取扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記にご相談ください。

お客様ご相談センター	(03)5684-9311	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7　ビクター本郷ビル
	(06)6765-4161	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16　大阪ビクタービル

その他

サービスネットワークＢＳ　9001

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

保証書（別添）

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ大切に保管してください。

保証期間
お買い上げから１年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

このAVセレクターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後８年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのご相談窓口（**30**、**31** ページのビクターサービス窓口案内をご覧ください）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　出張修理

28、**29** ページ「故障かな？と思う前に」にしたがってお調べいただき、なお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって販売店が修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

項目	内容
品　　名	AV セレクター
型　　名	**JX-S555**
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印も併せて お知らせください。
お　名　前	
電話番号	（　　　　）　　－
訪問希望日	

修理料金のしくみ

項目	内容
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費が含まれています。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
＋	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途駐車料金をいただくこともあります。

便利メモ

お買い上げの販売店	お近くのビクターサービス窓口
電話（　　　　）　　－	電話（　　　　）　　－

主な仕様

仕様および外観は、改善のため予告無く変更することがあります。あらかじめご了承ください。

商品名	AV セレクター
入出力端子	入力　５系統（S映像、映像、音声L/R）×２、（D4映像、S映像、音声L/R）×３ 出力　３系統（S映像、映像、音声L/R）×２、（S映像、音声L/R）×１ モニター出力　２系統（S映像、映像、音声L/R）×1、（D4映像、S映像、音声L/R）×1 音声モニター出力　１系統（音声L/R）×１
映像入力	**基準入力** • コンポジット信号　Vp-p = 1.0V (75 Ω) • コンポーネント信号 Y　：Vp-p = 1.0V (75Ω) Pb　：Vp-p = 0.7V (75Ω) Pr　：Vp-p = 0.7V (75Ω)
	最大入力 • コンポジット信号　Vp-p = 1.5V (75 Ω) • コンポーネント信号 Y　：Vp-p = 1.5V (75Ω) Pb　：Vp-p = 1.0V (75Ω) Pr　：Vp-p = 1.0V (75Ω)
映像出力（基準入力時）	**コンポジット信号**　Vp-p = 1.0V (75 Ω) **コンポーネント信号** Y　：Vp-p = 1.0V (75Ω) Pb　：Vp-p = 0.7V (75Ω) Pr　：Vp-p = 0.7V (75Ω)
映像クロストーク	50dB以上（同CH Y/C間 45dB以上）
映像S／N比	50dB以上
映像周波数帯域	コンポジット信号：12 MHz　コンポーネント信号：30 MHz
音声入力	基準入力　－10dBV 最大入力　＋6dBV
音声出力	－10dBV（基準入力時）
音声クロストーク	80dB以上（1kHz）
音声S／N比	80dB以上
音声周波数特性	5Hz～50kHz
歪率	0.03%以下
電源	AC100V　50Hz/60Hz
消費電力	13W（スタンバイ時 1.5W）
外形寸法	幅 43.5 cm × 高さ 8.4 cm × 奥行き 25.6 cm　（突起部、脚部を含む）
本体質量	2.8 kg
付属品	リモコン 単３乾電池　２本（動作確認用）

用語解説

マルチダビング
複数のビデオデッキを再生用または録画用として、どちらの用途でも自由に選べてダビングできること。

S 映像信号
従来の映像信号を輝度信号と色信号に分離した信号です。鮮明で色にじみの少ない映像が楽しめます。

S1 映像信号
S映像信号にフルモード（縦長の映像）を自動判別するための識別信号を重畳させた信号です。
16:9 のワイド画面でお楽しみいただけます。

D 端子の種類とフォーマット
D 端子は、機器が出力または入力できる信号の種類（フォーマット）により、D1からD5までに分けられています。

• JX-S555 の D 端子は「D4」対応です。

D1	480i
D2	480p（480i）
D3	1080i（480p、480i）
D4	720p（1080i、480p、480i）
D5	1080p（720p、1080i、480p、480i）

S2 映像信号
S1 映像信号に加え、ワイドクリアビジョン放送であるかを自動識別するための識別信号を重畳させた信号です。

コンポジット映像信号
S 映像信号の輝度信号（Y）と色信号（C）を合成した信号です。

コンポーネント端子
DVDなどの高画質な映像信号（Y/Pb/Pr、Y/Cb/Cr）を信号間の干渉なく高性能モニターに送ります。

目的別索引

映像を見る／ダビングする

システム的に使用する

索引

五十音順

アルファベット順

JX-S555　AVセレクター　取扱説明書

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
30、31ページのビクターサービス 窓口案内をご覧ください。	東京　☎(03) 5684-9311 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル 大阪　☎(06) 6765-4161 〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

ビクターホームページ　http://www.jvc-victor.co.jp/

コミュニケーションネットワークビジネスユニット
〒242-8514　神奈川県大和市下鶴間1644
電話 (046) 278-1801

J5000-210A